

ポスター発表

開催期間

2012年12月15日10時～12月16日17時

開催会場

共通教育棟2号館210番教室・211番教室

※研究者が説明をするコアタイムは、16日11時から12時。

研究者名に○印が付いている方が、コアタイムに説明をする方です。

研究者名に○印が無い発表は、ポスターの掲示のみです。

【小・中・高校生】

P-1 遠山の植物

○四万十町立川口小学校 5・6 年
(四万十町立川口小学校)

P-2 遠山の動物

○四万十町立川口小学校 5・6 年
(四万十町立川口小学校)

P-3 土佐塾中学，高等学校周辺の野生動物相－2011・2012 年の野生動物調査結果について－

○杉本和幸，乃一輝久
(土佐塾中学・高等学校)

P-4 希少糖 2012－糖が植物に与える影響－

藤田修平，今村友一，中山健治，安藝未織，○島崎雄大，西谷悠汰，下元 純，宗園龍星，東田美月，矢部 諭，山本裕也，横田航平
(高知県立高知小津高等学校科学部)

P-5 高高度発光現象スプライトの分析

○小笠原実里，○竹内夢乃，○坂本葉菜
(高知県立高知小津高等学校地学部)

P-6 ホバークラフトの $\mu = 0$

細川侑也，川渕貴史，○一浦嗣雄，國藤耕平
(高知県立高知小津高等学校理数科)

P-7 日常生活の衛生状況調査

○右城芽衣，松村捺美
(高知県立高知小津高等学校理数科)

P-8 お茶の抗菌効果

○小船ゆい，野村里美，廣田明日香
(高知県立高知小津高等学校理数科)

P-9 除菌消臭剤の効果

○竹内和美，高石玲奈
(高知県立高知小津高等学校理数科)

P-10 四万十川流域におけるシチョウゲの分布

○沖 佳純¹，伊與木明日香¹，清水勇太¹，本山和樹¹，敷地奈津美²
(高知県立四万十高等学校自然環境コース 2 年¹，同普通科 2 年²)

P-11 四万十川流域におけるアミカ科幼虫

高橋 蒼¹，○清水勇太²，沖 佳純²，伊與木明日香²
(高知県立四万十高等学校自然環境コース 3 年¹，同 2 年²)

P-12 国道 381 号線におけるロードキル調査

本山悠真¹, 那須志央里¹, 芝 千夏¹, 山田陸旗¹, ○小笠原理佳²
(高知県立四万十高等学校 H23 卒業¹, 高知県立四万十高等学校教諭²)

【生息環境など】

P-13 生物多様性保全をめざした水田内環境整備

○好岡江里子, 畑中満政, 篠崎由紀
(愛媛県立衛生環境研究所)

P-14 愛媛県西条市の泉とその生物

○山本貴仁
(特定非営利活動法人 西条自然学校)

P-15 愛媛県沿岸で観察された興味深い漂着物

○小林真吾
(愛媛県総合科学博物館)

【菌 類】

P-16 ウスキキヌガサタケの生態

○今西隆男, 澤田浩幸
(高知県立森林技術センター)

【藻 類】

P-17 愛媛県におけるホンダワラ類の記録とマジリモクの分布に関する考察

○小林真吾
(愛媛県総合科学博物館)

P-18 タイプ産地（愛媛県東温市お吉泉）におけるオキチモズクの発生状況

○小林真吾¹, 井上隆文², 熊野 茂³
(愛媛県総合科学博物館¹, 東温市立歴史民俗資料館（当時）², 国立環境研究所（当時）³)

P-19 愛媛県で確認されたシャジクモ属 (*Chara*) について

○藤原陽一郎¹, 加藤 将², 坂山英俊², 小林真吾³
(特定非営利活動法人愛媛生態系保全管理¹, 神戸大学大学院理学系研究科², 愛媛県総合科学博物館³)

P-20 少雨地域における水利用が河川の浮遊藻類に及ぼす影響

○福田竜也¹, 山田佳裕²
(愛媛大学大学院連合農学研究科¹, 香川大学農学部²)

P-21 サンゴ組織内の褐虫藻の分布および微細構造

○小島春香¹, 原田暢弥¹, 前田将吾¹, 関田諭子², 奥田一雄²
(高知大学大学院総合人間自然科学研究科理学専攻¹, 高知大学教育研究部総合科学系²)

【植 物】

P-22 サクラソウ科ハマボッスの染色体多型と地理分布について - 高知県について -

荻沼一男¹，○邦本 愛¹，西山愛美¹，前田美郷¹，三好 愛¹，河野淑子²，上田景子²，
種村珠実¹

(高知県立大学生活科学部¹，高知県立大学大学院健康生活科学研究科²)

P-23 タマムラサキの分布と四国での生育環境

○田中伸幸¹，藤井伸二²，木下 覺³

(高知県立牧野植物園¹，人間環境大学²，徳島県植物研究会³)

P-24 人里水辺環境の希少植物を守ることができるか？-松山市 RDB2012 からみた RL 植物の現状と保全の困難さ-

○松井宏光

(松山東雲短期大学)

P-25 キレンゲシヨウマ (ユキノシタ科) の遺伝的多様性と遺伝的分化

○山城 考¹，山城明日香²

(徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部¹，徳島大学環境防災センター²)

P-26 放棄棚田における埋土種子集団の動態：高知県大豊町怒田地区の事例

○須藤大智，山田菜美，岸 大介，平野美奈子，石川慎吾

(高知大学大学院理学専攻)

P-27 肱川下流域河畔に生育するマイヅルテンナンショウ - 光環境と竹林管理について -

久次米康勝¹，○押岡茂紀²，松井宏光³

(国土交通省四国地方整備局大洲河川国道事務所¹，株式会社西日本科学技術研究所²，
松山東雲短期大学³)

P-28 絶滅危惧種ムカゴサイシン (ラン科) の保全研究

○前田綾子¹，ステファン・ゲイル²，辻田有紀³，馬田英隆⁴，遊川知久⁵

(高知県立牧野植物園¹，嘉道理植物園²，東北大学植物園³，たかなべきのこ研究室⁴，
筑波実験植物園⁵)

P-29 左右相称花形成に関する比較形態学的研究

○室井美和子¹，早川宗志²，伊藤 桂¹，手林慎一¹，荒川 良¹，福田達哉¹

(高知大・院・総合人間自然科学¹，(独)農環研²)

P-30 花卉様への変化に関する形態学的及び解剖学的研究

○磯本沙織，室井美和子，松山佳那子，伊藤 桂，手林慎一，荒川 良，福田達哉

(高知大・院・総合人間自然科学)

P-31 キク科植物ハマベノギクの海岸地適応に関する形態学的研究

○宮田晴希¹，室井美和子¹，大賀教平¹，早川宗志²，神野展光³，中石敬二⁴，伊藤 桂¹，
手林慎一¹，荒川 良¹，福田達哉¹

(高知大・院・総合人間自然科学研究科¹，(独)農環研²，福岡教育大学³，東海大学第五高等学校⁴)

P-32 ツリガネニンジンの形態的環境適応

○大賀教平¹，室井美和子¹，伊藤 桂¹，手林慎一¹，荒川 良¹，早川宗志²，福田達哉¹
(高知大・院・総合人間自然科学研究科¹，(独)農環研²)

P-33 サトイモ科テンナンショウ属植物の種分化に関する研究

○松山佳那子¹，早川宗志²，村松優子¹，伊藤 桂¹，手林慎一¹，荒川 良¹，福田達哉¹
(高知大・院・総合人間自然科学研究科¹，(独)農環研²)

P-34 キシツツジとモチツツジの交雑に関する遺伝学のおよび形態的研究

○横山菜々子¹，早川宗志²，伊藤 桂¹，手林慎一¹，荒川 良¹，福田達哉¹
(高知大・院・総合人間自然科学研究科¹，(独)農環研²)

P-35 ため池改修に伴うミズスギナの保全事例

○小林真吾
(愛媛県総合科学博物館)

P-36 シキミのフシダニ被害に関する研究

○藤本浩平
(高知県立森林技術センター)

P-37 シキミの病害虫とその対策

○藤本浩平
(高知県立森林技術センター)

P-38 高知県における水生植物の分布

○山ノ内崇志，石川慎吾
(高知大学大学院)

P-39 三嶺山城におけるニホンジカによる植生への影響

○坂本 彰
(三嶺の森をまもるみんなの会)

P-40 シカの生息域とハウロクイチゴの物理的防御の関連性に関する研究

○竹井将吾¹，早川宗志²，荒川 良¹，伊藤 桂¹，手林慎一¹，福田達哉¹
(高知大・院・総合人間自然科学¹，(独)農環研²)

P-41 四国山地剣山系稜線部におけるニホンジカの影響によるササ草原の衰退とヤマヌカボ群落の拡大

中嶋宏心¹，町田華澄¹，森本梓紗¹，久住 稔¹，坂本 彰²，○石川慎吾¹
(高知大学理学部¹，三嶺の森をまもるみんなの会²)

【サンゴ類】

P-42 Artificial breeding method of *Acropora hyacinthus* (Anthozoa, Scleractinia)
Tohru HAYASHI, ○Fumihito IWASE
(黒潮生物研究所)

P-43 垂下式筏によるミドリイシ属サンゴの中間育成について
林 徹, ○岩瀬文人
(黒潮生物研究所)

P-44 イシサンゴ類幼生の着生場所の選択について
○岩瀬文人^{1, 2}, 深見公雄², 目崎拓真³, 野澤洋耕¹
(黒潮生物研究所¹, 高知大学², 東北大学³)

P-45 Growth and maturation of the artificially bred *Acropora solitaryensis* in south west of Shikoku, middle Japan
○Fumihito IWASE¹, Tohru HAYASHI¹, Kimio FUKAMI²
(黒潮生物研究所¹, 高知大学²)

P-46 高知県香南市夜須町手結周辺における造礁サンゴ群集の拡大について
○目崎拓真¹, 田中幸紀¹, 久保田 賢²
(黒潮生物研究所¹, 高知大学・黒潮圏²)

【ヒトデ類】

P-47 四国西南海域のヒトデ相と稀産種の採集・観察記録
○中地シュウ
(財団法人黒潮生物研究財団黒潮生物研究所)

P-48 四国西南海域における近年のオニヒトデの大発生について
○中地シュウ
(財団法人黒潮生物研究財団黒潮生物研究所)

【貝類】

P-49 トドロキガイはタマキガイの祖先種：高知県安田町産化石の分析から
○近藤康生, 伊藤寿恵, 山岡勇太
(高知大学理学部)

P-50 異時性による現生種二枚貝サルボウガイ（フネガイ科）への進化：
高知県上部鮮新統穴内層産標本の形態解析から
○山岡勇太, 近藤康生
(高知大学理学部)

P-51 高知県の唐ノ浜層群穴内層（新第三紀～第四紀）から新たに確認された貝類
○三本健二¹, 中尾賢一²
(高知化石研究会¹, 徳島県立博物館²)

P-52 高知県の白亜紀、新第三紀甲殻類および新第三紀～現世貝類

○三本健二
(高知化石研究会)

P-53 ソメワケダワラガイ高知市で発見

○山崎博継
(わんぱーくこうちアニマルランド)

P-54 マゴコロガイがヨコヤアナジャコの成長に与える影響

○佐藤あゆみ, 伊谷 行
(高知大学教育学部)

P-55 ヨコヤアナジャコと共生するマゴコロガイの初期生活史と幼生形態

○佐藤あゆみ¹, 伊谷 行¹, 山田ちはる²
(高知大教育学部¹, 島根県・隠岐支庁水産局²)

P-56 水路浚渫堆積物中の貝類遺骸からみた水路貝類相の変遷 (香長平野の例)

○菊池直樹
(高知大学理学部理学科短期研究員)

P-57 地域博物館施設の研究活動：徳島県の希少陸産貝類に関する研究

○松田春菜, 田代優秋
(徳島県立佐那河内いきものふれあいの里ネイチャーセンター)

P-58 ヒトはアサリとどう触れあうか？－保護区によるアサリ資源管理の可能性

○大田直友
(NPO 法人徳島保全生物学研究会/阿南高専)

【寄生虫類】

P-59 四国の哺乳類および鳥類から得られた寄生線虫類の概要とその特徴

浅川満彦
(酪農学園大学獣医学類/同大学院野生動物医学センター)

【節足動物類】

P-60 ニホンアカザトウムシを用いた分子系統学的研究

○糸川義雅¹, 伊藤 桂², 早川宗志³, 鶴崎展巨⁴, 横山 潤⁵, 荒川 良², 福田達哉²
(高知大・院・総合人間自然科学¹, 高知大・農², (独)農環研³, 鳥取大・地域⁴, 山形大・理⁵)

P-61 高知県に産する昆虫・ダニ類

－こんなにいっぱい！物部キャンパスのハダニと天敵－

○伊藤 桂¹, 荒川 良^{1, 2}, 手林慎一¹, 福田達哉¹
(高知大学農学部自然環境学コース¹, 高知昆虫研究会²)

P-62 愛媛県の哺乳類寄生マダニ類

山内健生¹, 山本貴仁², 矢野真志³, 宮本大右⁴
(富山衛研¹, 石鎚ふれあいの里², 面河山岳博物館³, ネイチャー企画⁴)

【昆虫類】

P-63 高知県中部におけるクロマダラソテツシジミの発生とソテツへの被害について

○藤本浩平
(高知県立森林技術センター)

P-64 高知県琴ヶ浜における海浜植物の訪花昆虫相

○楠瀬雄三¹，伊東憲正²，遠藤知二³，長谷川匡弘⁴
(高知大学大学院総合人間自然科学研究科¹，株式会社地域環境計画²，神戸女学院大学人間科学部³，大阪市立自然史博物館⁴)

P-65 台湾型ベニトンボの北上記録

杉村光俊
(公益社団法人 トンボと自然を考える会)

P-66 外来昆虫ヘクソカズラグンバイの四国における分布拡大

加藤敦史¹，山田量崇²
(東大阪市¹，徳島県立博物館²)

P-67 高知県におけるマドボタル属の調査

○多々良成紀¹，杉村光俊²，石川憲一³
(公益財団法人高知県のいち動物公園協会¹，公益社団法人トンボと自然を考える会²，高知県立高知海洋高等学校³)

**P-68 旅する蝶，アサギマダラに魅せられて
—秋葉山からみた四国のアサギマダラの現状と課題—**

○山崎三郎¹，片岡雅美¹，楠瀬伸子¹，長崎志津男²
(アサギマダラの里 in 秋葉山¹，高知県昆虫研究会²)

P-69 高知県立のいち動物公園でのアサギマダラのマーキング調査について

○牛腸典代，齋藤 隼
(公益財団法人高知県のいち動物公園協会)

P-70 四万十川流域の森林の発達段階とカミキリムシの種構成の関係

○佐藤重穂，松本剛史
(森林総合研究所四国支所)

P-71 スギ・ヒノキ材質劣化害虫キバチ類の揮発性成分への反応

○松本剛史，佐藤重穂
(森林総合研究所四国支所)

P-72 コウモリの外部寄生虫，特にクモバエについて

○熊沢秀雄
(高知昆虫研究会)

P-73 高知県のカミキリムシのいろいろ

○中山絃一
(高知昆虫研究会)

P-74 トンボも‘カ’に血を吸われる!?

池澤 舞¹, ○島崎祐樹¹, 荒川 良^{1, 2}, 伊藤 桂¹, 手林慎一¹, 福田達哉¹
(高知大学農学部自然環境学コース¹, 高知昆虫研究会²)

P-75 高知県に産する昆虫・ダニ類—ゾウムシってなに・・・!?!?—

○吉田紀亜¹, 荒川 良^{1, 2}, 伊藤 桂¹, 手林慎一¹, 福田達哉¹
(高知大学農学部自然環境学コース¹, 高知昆虫研究会²)

P-76 高知県に産する昆虫・ダニ類—高知を代表する昆虫—トサヒラズゲンセイ—

○荒川 良^{1, 2}, 伊藤 桂¹, 手林慎一¹, 福田達哉¹
(高知大学農学部自然環境学コース¹, 高知昆虫研究会²)

P-77 虫で虫を退治する—高知の施設園芸で活躍する昆虫たち—

○荒川 良^{1, 2}, 伊藤 桂¹, 手林慎一¹, 福田達哉¹
(高知大学農学部自然環境学コース¹, 高知昆虫研究会²)

P-78 虫で虫を退治する—土着天敵ニッポンクサカゲロウ—

○友草 明, 荒川 良, 伊藤 桂, 手林慎一, 福田達哉
(高知大学農学部自然環境学コース)

P-79 虫で虫を退治する—土着天敵のニューフェース—メスグロハナレメイエバエ室内増殖に成功!—

○荒川 良, 友田真文, 伊藤 桂, 手林慎一, 福田達哉
(高知大学農学部自然環境学コース)

【甲殻類】

P-80 土佐湾の底引き網漁で得られたシャコ類

○町田吉彦
(四国自然史科学研究センター)

P-81 高知県大月町シウラの浜におけるオカヤドカリ属の生息状況

○中地シュウ
(財団法人黒潮生物研究財団黒潮生物研究所)

P-82 重要文化的景観からみたテナガエビ—黒尊川流域における出現状況—

○山下慎吾¹, 川村慎也², 田辺義武³
(魚と山の空間生態研究所¹, 四万十市教育委員会², しまんと黒尊むら³)

P-83 徳島県日和佐川における通し回遊性テナガエビ類の生態

○齋藤 稔¹, 米澤孝康¹, 浜野龍夫²
(徳島大学大学院総合科学教育部¹, 徳島大学大学院 SAS 研究部²)

P-84 アカテガニの生活史を用いた都市緑地の自然的環境と人為的環境の影響評価

○稲飯幸代¹, 河口洋一¹, 四宮隆二², 田代優秋³, 鎌田磨人¹
(NPO 法人徳島保全生物学研究会¹, 国土交通省², 徳島県立佐那河内いきものふれあいの里ネイチャーセンター³)

P-85 土佐湾産コブシガニ科の7稀種

○町田吉彦
(四国自然史科学研究センター)

P-86 高知県 RDB 絶滅危惧 I A 類(環境省絶滅危惧 II 類)に指定されているシオマネキの分布の現状

○美濃厚志¹, 濱田哲暁¹, 細木光夫², 谷岡 仁³
(株式会社東洋電化テクノリサーチ¹, 有限会社エコシステム², 香美市³)

P-87 四国西南地域で新たに見つかったカワアイ(キバウミナ科)およびシオマネキ(スナガニ科)の生息地

○中地シュウ
(財団法人黒潮生物研究財団黒潮生物研究所)

P-88 ハクセンシオマネキ(スナガニ科)が減ってきている? -高知県の場合-

○佐藤友康, 桜木英輔, 林 浩史
(株式会社東洋技研)

P-89 オオヒメアカイソガニとウモレマメガニによるユムシの巣穴利用

○松山大起, 伊谷 行
(高知大学教育学部)

【魚 類】

P-90 高知県黒潮町伊与木川の魚類相と佐賀取水堰の影響

○亀田和成¹, 町田吉彦²
(NPO 法人日本ウミガメ協議会¹, 四国自然史科学研究センター²)

P-91 高知県渡川水系の在来アマゴ -真の自然再生を目指して-

○町田吉彦¹, 豊田庄二²
(四国自然史科学研究センター¹, 津野町²)

P-92 高知県奈半利川水系における在来アマゴの識別と個体群構造の推定

○岡部正也, 小松章博
(高知県内水面漁業センター)

P-93 高知市浦戸湾の魚類相

○阪本匡祥
(アカメと自然を豊かにする会)

P-94 高知県横浪半島北岸の流入河川の魚類

○阪本匡祥
(アカメと自然を豊かにする会)

P-95 高知県奈半利川における天然アユ資源の保全

○高橋勇夫
(たかはし河川生物調査事務所)

P-96 新莊川と物部川におけるアユ産卵期について

○石川 徹, 岡部正也, 佐伯 昭
(高知県内水面漁業センター)

P-97 カワバタモロコおよび水田域の生態系保全-農業水路におけるカワバタモロコ保全のためのゾーニング手法-

○佐藤陽一¹, 田代優秋²
(徳島県立博物館¹, 徳島県立佐那河内いきものふれあいの里ネイチャーセンター²)

P-98 アナジャコ共生系の定量的研究-巣穴を利用するヒモハゼの共生生態

○邊見由美, 伊谷 行
(高知大学教育学部)

P-99 高知県におけるアカメの分布とコアマモ場以外からの幼魚の記録

○長野博光¹, 町田吉彦²
(アカメと自然を豊かにする会¹, 四国自然史科学研究センター²)

P-100 高知県沖で採集された底生性魚類の分類学的研究

○遠藤広光
(高知大学理学部海洋生物学研究室)

P-101 高知県における浅海性魚類の新知見

○片山英里¹, 遠藤広光²
(国立科学博物館¹, 高知大学理学部²)

P-102 シンカイヨロイダラ筋肉のI型コラーゲンサブユニット遺伝子群の部分配列解析

○秋田もなみ
(高知大学大学院総合人間自然科学科農学専攻水産利用学研究室)

【両生類】

P-103 高知県産オオイタサンショウウオの生息域内保全活動

○吉川貴臣
(わんぱーくこうちアニマルランド)

P-104 動物園(生息域外)における高知県産オオイタサンショウウオの自然繁殖

○吉川貴臣
(わんぱーくこうちアニマルランド)

P-105 高知県におけるコガタブチサンショウウオの繁殖生態

○吉川貴臣, 渡部 孝
(わんぱーくこうちアニマルランド)

P-106 高知県におけるイシヅチサンショウウオの分布

○渡邊礼雄, 加藤元海
(高知大学大学院総合人間自然科学研究科)

P-107 高知県における過去5年間のオオサンショウウオ分布生息調査

○渡部 孝, 山崎博継, 吉川貴臣, 岡本宏昭, 大地博史, 早川大輔
(高知市わんぱーくこうちアニマルランド)

P-108 香川のカエルの現状

篠原 望
(香川県善通寺市立中央小学校)

P-109 愛媛県における特定希少野生動植物ナゴヤダルマガエルの生息調査

○畑中満政¹, 好岡江里子¹, 中村洋祐¹, 徳山崇彦¹, 松田久司², 今川義康³, 高村裕二⁴, 岡山健仁⁵
(愛媛県立衛生環境研究所¹, かわうそ復活プロジェクト², 愛媛自然環境調査会³, 愛媛県立とべ動物園⁴, 面河山岳博物館⁵)

【爬虫類】

P-110 高知県周辺におけるタワヤモリの確認報告

○谷岡 仁¹, 谷地森秀二²
(香美市¹, 四国自然史科学研究センター²)

P-111 アオヘビ属の摂食行動と頭骨の関連性に関する形態学的研究

○土屋淑照¹, 大賀教平¹, 森 哲², 戸田 守³, 早川宗志⁴, 伊藤 桂¹, 手林慎一¹, 荒川 良¹, 福田達哉¹
(高知大・院・総合人間自然科学研究科¹, 京都大院・理², 琉球大・熱帯生物圏研究センター³, (独)農環研⁴)

P-112 ニホンイシガメ (*Mauremys japonica*) の保護事業

○前田洋一, 高村裕二
(愛媛県立とべ動物園)

P-113 高知県室戸市におけるウミガメを中心とした10年間の活動

○渡辺紗綾, 河野希和
(特定非営利活動法人漁師のNPO)

P-114 日和佐大浜海岸における産卵個体のアルゴスシステムを用いた行動追跡

○田中宇輝¹・松沢慶将²・石原 孝³・島田貴裕^{2, 3}
(日和佐うみがめ博物館¹・日本ウミガメ協議会²・ジェームスック大学理工学部地球環境科学科³)

【鳥類】

**P-115 高知県下の猛禽類における薬剤耐性食中毒原因菌汚染とその経路
～傷病保護および飼育下個体の症例をもとに～**

○早川大輔¹，池田裕計^{1,2}，吉澤未来¹，山崎博継¹，渡部 孝¹
(わんぱーくこうちアニマルランド¹，現：桐生が岡動物園²)

P-116 高知県でのハクセキレイ，クロジおよびアカハラの初繁殖事例

○田中正晴
(日本野鳥の会高知支部)

P-117 カラ類の最適巣箱サイズに関する研究

○吉見祐城¹，南谷幸雄²，早川宗志³，荒川 良¹，伊藤 桂¹，手林慎一¹，福田達哉¹
(高知大・院・総合人間自然科学¹，横浜国立大・環境情報²，(独)農環研³)

P-118 高知県におけるカワウの越冬個体数の変化と有害駆除効果について

○濱田哲暁¹，木村 宏²，佐藤重穂³
(株式会社東洋電化テクノリサーチ¹，日本野鳥の会高知支部²，森林総合研究所四国支所³)

P-119 高知市種崎における里海の鳥類相

○楠瀬雄三¹，福井 亘²
(高知大学大学院総合人間自然科学研究科¹，京都府立大学大学院生命環境科学研究科²)

P-120 四万十川流域における過去 20 年間の陸生鳥類群集の変化

○佐藤重穂
(森林総合研究所四国支所)

P-121 剣山地におけるニホンジカの生息密度の変化が森林性鳥類群集に与える影響

○佐藤重穂
(森林総合研究所四国支所)

P-122 四国における外来鳥類の現状

○佐藤重穂¹，濱田哲暁²
(森林総合研究所四国支所¹，株式会社東洋電化テクノリサーチ²)

P-123 四国山地におけるソウシチョウの繁殖期確認状況および営巣状況

○谷岡 仁¹，金城芳典²，山崎浩司²
(香美市¹，四国自然史科学研究センター²)

【哺乳類】

P-124 高知県香美市・高知市の人工トンネルを利用するコウモリ類の確認状況

○谷岡 仁
(香美市)

P-125 四国山地におけるコテングコウモリ *Murina ussuriensis* の人工ねぐら利用状況について

○谷岡 仁
(香美市)

P-126 四国産コウモリ類の超音波音声採集について —音声ライブラリー作成に向けて—

○谷岡 仁¹, 谷地森秀二², 美濃厚志³
(香美市¹, 四国自然史科学研究センター², 株式会社東洋電化テクノリサーチ³)

P-127 高知県四万十市西土佐におけるユビナガコウモリ *Miniopterus fuliginosus* の人工洞利用状況

○谷地森秀二¹, 谷岡 仁², 美濃厚志³, 山崎浩司¹, 金川弘哉⁴
(四国自然史科学研究センター¹, 香美市², 株式会社東洋電化テクノリサーチ³, 高知大学大学院⁴)

P-128 1944年に香川県志度町小田沖で捕獲されたカワウソ毛皮標本

○金子之史
(香川生物学会/みんなでつくる自然史博物館・香川)

P-129 ニホンカワウソが最後に確認された高知県新莊川の生態学的環境

○佐藤大紀, 加藤元海
(高知大学理学部生物科学コース理論生物学研究室)

P-130 香川県産タヌキの精巢の季節変化と骨格の成長

○野口和恵
(株式会社 四電技術コンサルタント)

P-131 Craniometric variation of raccoon dogs (*Nyctereutes procyonoides*) : implications of Bergmann's and island rules in medium-sized mammal endemic to East Asia

Sang-In Kim^{1, 2}, Tatsuo Oshida¹, Young-Jun Kim³, Hang Lee², Mi-Sook Min², and Junpei Kimura² (Laboratory of Wildlife Biology, Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine¹, College of Veterinary Medicine, Seoul National University², Chungnam Wild Animal Rescue Center³)

P-132 高知県に生息するホンドタヌキ (*Nyctereutes procyonoides vinerrinus*) およびハクビシン (*Paguma larvata*) の残留性有機汚染物質：蓄積特性と汚染実態

○山本美幸¹, 磯部友彦², 谷地森秀二³, 林 光武⁴, 野見山 桂¹, 水川葉月¹, 田辺信介¹
(愛媛大学沿岸環境科学研究センター¹, 愛媛大学上級研究員センター², 四国自然史科学研究センター³, 栃木県立博物館⁴)

P-133 陸棲哺乳類の血中に残留するハロゲン化フェノール化合物の種間比較

○水川葉月¹, 野見山 桂¹, 中津 賞², 谷地森秀二³, 林 光武⁴, 田代 豊⁵, 山本美幸¹, 長野靖子¹, 田辺信介¹
(愛媛大学¹, 中津動物病院², 四国自然科学研究センター³, 栃木県立博物館⁴, 名桜大学⁵)

P-134 日本列島におけるキツネ頭骨形態の地理的変異：ベルクマンの規則の検討

○大石琢也¹, 浦口宏二², Abramov A.V³, ○増田隆一⁴
(北海道大学・大学院理学院¹, 北海道立衛生研究所², ロシア科学アカデミー動物学研究所³, 北海道大学・大学院理学研究院⁴)

P-135 四国剣山地におけるツキノワグマの越冬穴

○金澤文吾¹, 山崎浩司¹, 伊藤 徹², 草刈秀紀³
(四国自然史科学研究センター¹, 高知大学理学部², WWF ジャパン³)

P-136 四国剣山地におけるツキノワグマ個体数推定の課題

○金澤文吾¹, 草刈秀紀², 大西尚樹³, 八東 翔⁴, 村上 賢⁴
(四国自然史科学研究センター¹, WWF ジャパン², 森林総合研究所東北支所³, 麻布大学大学院獣医学研究科⁴)

P-137 四国剣山地におけるツキノワグマ 1 個体の長期追跡記録

○山田孝樹, 金澤文吾, 山崎浩司
(四国自然史科学研究センター)

P-138 歯の形態に基づく四国産ニホンツキノワグマの地理的変異

○上堀智司
(相生市立矢野川中学校)

P-139 高知県中土佐町におけるニホンザルの生息密度と遊動域の変動

○葦田恵美子, 金城芳典
(四国自然史科学研究センター)

P-140 傷病野生獣としてのムササビの保護状況について

○渡部 孝
(わんぱーくこうちアニマルランド)

P-141 徳島県剣山山頂付近におけるニホンジカの冬季行動特性

○森 一生¹, 武知宏弥², 鎌田磨人³
(徳島県南部総合県民局¹, 徳島市², 徳島大学工学部³)

P-142 大豊町の集落におけるシカ柵設置の経緯とその効果

○市川昌広, 松尾大地
(高知大学農学部)

**P-143 ニホンジカの摂食剥皮害による落葉広葉樹天然林の衰退
～四国南西部, 三本杭における継続調査から～**

○奥村栄朗¹, 酒井 敦¹, 奥田史郎²
(森林総合研究所四国支所¹, 森林総合研究所関西支所²)

P-144 シャープシューティングによるニホンジカの捕獲事例

○品川千種¹, 亀井利活², 宮津直倫³, 栗林 稔³, 國廣能央⁴, 早川大輔⁵, 森 一生⁶, 八代田千鶴⁷, 近藤誠司⁸, 秦 寛⁸, 浅野 玄¹, 鈴木正嗣¹

(岐阜大学応用生物科学部¹, 長野県諏訪農業改良普及センター², 北海道環境生活部環境局³, 標茶町役場⁴, わんぱくこうちアニマルランド⁵, 徳島県南部総合県民局⁶, 森林総合研究所九州支所⁷, 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター⁸)

P-145 ミトコンドリア DNA 塩基配列が示す四国産ニホンカモシカの遺伝的独自性

○奥村栄朗
(森林総合研究所四国支所)

P-146 四国山地のカモシカ調査への糞 DNA サンプルによる遺伝子解析導入から明らかになったこと

○山城明日香¹, 山城 考²
(徳島大学環境防災センター¹, 徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部²)

P-147 ミトコンドリア DNA の分子系統学的解析による四国産ノウサギ集団の歴史の推定

○布目三夫¹, 友澤森彦², 佐藤 淳³, 安田俊平⁴, 鈴木 仁⁵, 松田洋一¹
(名古屋大学大学院生命農学研究科¹, 慶應義塾大学自然科学研究教育センター², 福山大学生命工学部³, 東京都医学総合研究所⁴, 北海道大学大学院地球環境科学研究院⁵)

P-148 徳島県鳴門市におけるアライグマの食性

○金城芳典
(四国自然史科学研究センター)

P-149 四国東部におけるアライグマの捕獲状況

○金城芳典
(四国自然史科学研究センター)

P-150 特定外来種ヌートリアが瀬戸内海の5島(香川県)に侵入

○金子之史, 川口 敏
(香川生物学会/みんなでつくる自然史博物館・香川)

P-151 土佐湾における鯨類の出現頻度と気象海洋条件との関係

○三好智子, 加藤元海
(高知大学理学部生物科学コース理論生物学研究室)